

テーマ	実際の選挙機器を使って投票を体験しよう
単元等	政治参加と民主政治(「公共」) 他
ねらい	● 選挙活動や投票を模擬的に体験することにより、選挙制度や選挙の意義等について理解するとともに、主体的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。
概要	● 県選挙管理委員会・市町村選挙管理委員会との連携により、実際の選挙で使用される投票箱や投票用紙等を使用した模擬選挙を行う。実践的な体験を通して、選挙制度や選挙の意義等、選挙の「仕組み」についての理解を深める。
使用する教具等	【学校で準備】電子黒板(または、プロジェクタ、スクリーン)、ノートパソコン 【選挙管理委員会で準備】スライド資料、選挙機器(投票箱、投票台等)・投票用紙等

学習の流れ	講義	■ 出前講座① 選挙制度や選挙の意義等について	
	模擬選挙	■ 出前講座② 模擬選挙 ① 架空の候補者による選挙演説を聞き、各マニフェストの相違点等について考察する。 ② 投票箱や記載台等の選挙器具を設置する。(選管) ③ 各クラスの選挙管理委員会が立会人として参加する。 ④ 実際の投票用紙を使用して投票する。 ⑤ 開票作業、当選者の決定 ⑥ リフレクション	

選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の事例

生徒会役員選挙において、選挙管理委員会との連携を行ったり生徒の自治的な活動を充実したりすることで、主権者としての当事者意識が醸成され、主権者教育としての効果が一層高まる。

〈取組の例〉

- ① 生徒会によるスローガンの作成、生徒選挙管理委員による投票啓発
- ② 学校生活における課題についての話し合いや選挙の仕組みに関する学習
- ③ 期日前投票所の設置



県・市町村選挙管理委員会との連携

- ④ 出前講座(選挙制度や選挙の意義等について) ➔ ⑤ 生徒会選挙投票の実施(選挙機器及び投票用紙の使用)

■ 関連資料等

【出前講座】

- 奈良県選挙管理委員会または各市町村選挙管理委員会 (申込み)

【教材等】

- 私たちが拓く日本の未来(総務省) 生徒用 p8-19 解説編第2章「選挙の実際」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000815499.pdf

まずは、電話にて奈良県選挙管理委員会または各市町村選挙管理委員会へ問い合わせてください。

※ 選挙等の実施状況により希望に沿うことができない場合があります。